

2025年3月4日

報道関係者各位

フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ 温室効果ガス（GHG）排出量の第三者検証を実施

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役 社長執行役員 福島 豪)は、温室効果ガス（GHG）排出量データの信頼性向上のため、第三者検証を実施し、その検証機関である SGS ジャパン株式会社による検証意見書を受領いたしました。これにより、ステークホルダーの皆様に対し、より信頼性・透明性の高いデータを開示することが可能になりました。

当社グループは、パーパス「食といのちの未来を拓く」の実現に向けて、8つのマテリアリティ(重要課題)を特定しております。重要課題の中でも事業の継続性への影響度の高さおよびパーパスに掲げる地球の「いのち」を守る観点から、「気候変動対応」を最重要課題として特定し、2021年6月にサステナブルビジョン「Dramatic Future2050」を掲げ取り組んでいます。

サステナブルビジョン「Dramatic Future2050」 <https://www.galilei.co.jp/sustainable/>

こうした中、この度当社グループの2023年度（2023年4月～2024年3月）の温室効果ガス（GHG）排出量データ（スコープ1、2、3）について、国際的な基準である「ISO 14064-3:2019」に準拠した第三者検証を実施し、その検証機関である SGS ジャパン株式会社による検証意見書を受領いたしました。これにより、ステークホルダーの皆様に対し、より信頼性・透明性の高いデータを開示することが可能になりました。

■温室効果ガス排出量の推移（2013年度比）

年度	2021年度	2022年度	2023年度
Scope1,2	11,619t (17.1%)	10,147t (27.6%)	9,957t (29.0%)
Scope3	3,293,877t	3,192,039t	2,960,171t

※第三者保証取得に伴い、2024年11月1日付で発表した各年度の温室効果ガス排出量を訂正いたしました。

引き続き、温室効果ガス(スコープ1、2)排出量の中長期目標（2030年度：50%、2050年度：ネットゼロ、いずれも2013年度比）に向けて取組みを推進し、2050年までのカーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指してまいります。

■検証範囲

※詳細につきましては、検証意見書

(https://www.galilei.co.jp/wp/wp-content/uploads/2025/02/verification_report_ja.pdf)をご確認下さい。

対象範囲：フクシマガリレイ株式会社及び連結子会社 4 社

対象期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

対象項目：事業活動により発生する温室効果ガス（GHG）排出量（スコープ 1、スコープ 2、スコープ 3（カテゴリー 1、4、9、11、12））

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：経営企画部 広報課）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2011 FAX：06-6477-0755

URL：<https://www.galilei.co.jp/>